

第502回今別町議会定例会会議録（第5号）

第5日（3月13日）

出席議員 7名

1番	綿谷敏明君	2番	中嶋惠君
3番	本間闘士君	4番	太田英一君
5番	田中哲也君	6番	小倉潤二君
7番	本郷良克君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	阿部義治君
副町長	飯田哲君
教育長	佐藤泰仁君
会計管理者 税務会計課長	奥崎匠君
参事・総務企画課長	太田和泉君
参事・町民福祉課長	山崎真直君
産業建設課長	遠田剛洋君
教育課長	相内讓君
総務企画課長補佐	阿部真紀子君
町民福祉課課長補佐	成田秀和君
税務会計課課長補佐	澤田淳一君
産業建設課課長補佐	川村一樹君
産業建設課課長補佐	平山治門君
教育課課長補佐	嶋中哲哉君
診療所事務長	平山寛哉君
代表監査委員	相内啓司君

職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	佐 渡 慶 剛 君
主 事	野土谷 侑 斗 君

議事日程

第1 議案審議

- ・議案第18号 令和8年度今別町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
- ・議案第19号 令和8年度今別町国民健康保険特別会計（診療施設勘定）予算
- ・議案第20号 令和8年度今別町後期高齢者医療特別会計予算
- ・議案第21号 令和8年度今別町介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
- ・議案第22号 令和8年度今別町簡易水道事業会計予算
- ・議案第23号 今別町過疎地域持続的発展計画の策定について

午前10時00分 開議

○議長（本郷良克君） おはようございます。

ただいまの出席議員は7名であります。よって、会議を再開いたします。

日程第1 議案審議

○議長（本郷良克君） 日程に従いまして、議案審議を行います。

議案第18号から第22号を一括審議願います。綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 診療所会計の工事請負費の中に、風除室エアコン等設置工事っていうふうにあるんですけども、たしか風除室はガラス、四方ガラスでエアコンの設置って可能なんですか。その辺。

○議長（本郷良克君） 事務長。

○診療所事務長（平山寛哉君） エアコンの設置に関しては設置は可能です。このエアコンに関しては、風除室、ここ数年やはり暑い、真夏の暑い日に、幾ら扇風機2台等を設置して、大分涼しさを求めているんですが、やはり直射日光等により、もう30度以上という暑い空間になっておりますので、エアコンを設置するということで検討していました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすればまあエアコンは風除室に設置は可能だということで、この項目の中にエアコン等ってあるんですけども、そのエアコンのほかに何か附属でつける器具とか、用具とかってあるんですか。

○議長（本郷良克君） 事務長。

○診療所事務長（平山寛哉君） 本来ならば説明のほうに詳細を記載すべきだったんですけども、今現在、風除室のライト、電気ですか、電気に関しては診療所内でのスイッチをつけたり消したりできるんですが、やはり巡回バス等を7時、8時等に運行していることも考えて、人感のライトに変更したいなと思って、こういった形で上げさせていただきました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、エアコンのほかに風除室の電気関係の工事も含めて、これでやるということで、解釈でいいですか。はい、分かりました。

続けていいですか。（「はい」の声あり）

水道関係なんですけれども、町の水道は地下水をたしか利用してやっていると思います。ところが、近年、地下水を利用している業者及び個人でも、個人の方は水が出なくなったとか、地下水でもお店をやっているところは水量が減ったとか、水圧が下がったとかという話、2年ぐらい前から出ているんですよ。しかしながら、今別町の水道も地下水を使っているんで、今後、その水圧、水量は常に気にして見ていかないと、町民の水確保のためにはやっていく必要があると思います。

また、地下水は自然なものなので、もし、地下水が止まった場合の計画も今から使う使わないでないでしょう。そういう計画を使う使わないじゃなくて、そういう緊急時に備えた計画が必要だと思っんですけれども、町長どう考えていますか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 浄水場を今地下水、予備も入れて3本で今くみ上げ、この間、一昨年、正月あたりに水圧下がり、給水停止しました。というのはくみ上げのポンプ、老朽化して50%ぐらいよりくみ上げていないのに、正月になれば皆さん多く使った関係で、水位が低下してしまったっていうのがあって、その後濁ったっていうものあったんですけども、そういう中で、要するに地下水の水があるのに、こちらの対応がちょっとまずくてですね、要するに設備をきちんとしていけば、復旧して、今、100%に近いような水をくみ上げているんですが、今綿谷議員が心配した地下水が枯渇した場合、私も常にそれ気になってますよ。ほかのところの井戸が枯れた話も聞いているし、ほかの村元でも井戸枯れた話を聞いていますんで、万が一、どうするかって、地下水枯れてしまえば、これ調査もさねばまいね、地下水枯れてまれば、水がない。

ただ、今別浄水場、大泊浄水場、それから二股浄水場、水源地はままだもっています。水源地をままだもっています。ただ、水源地が水を使っていない分、大変な状態ですが、水源地もやっぱり整備していかなきゃいけないし、今別浄水場は水源地から水がまだ入ってくるように取り寄せはしています。この間私も浄水場見てきました。

ただ、施設が、中にあるタンクがもう全然使えない。やるんだったら新たに設置しておいてやらなきゃいけない。その辺も踏まえながらやっぱり考えなければいけないなあって今別のタンクだけで太田議員もよく覚えているんだばって、今、今別浄水場をろ過タンクやった場合、3基あれば、今別町の全町間に合うのかなという感じです、昔と違って。ですから今別浄水場を確保すれば何とかなるという状態でいますんで、私もこの間ろ過機見に行きました。配電盤はもう使い物にならない。やるとなれば何千万円、億

になってくると思うんですよ。それでも、将来的に地下水の状況を今調査してもらいながら、やっぱりそういう心準備もしておかないと駄目だと思いますんで、ありがとうございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 実は私の家の前に、もう20年ぐらい前だと思うんですけども、水路が臭いがして駄目だということで、あそこを地下水を利用して水路に流しているんですよ。一時、産業建設課のほうにも言ったんですけども、枯渇したというか出なくなっただけですよ。ところが、いつの間にかまた出るようになったんですよ。そういうところが村元地区では非常に多いんですよ。全く出なくなったところもあるし、あとまた、営業している店もそうです。ガソリンスタンドも極端に水量と水圧が下がっているんですよ。

なので、原因はちょっと分かりませんが、そういうふうに地下水が変動しているというのは事実なので、その辺も含めて、過去にたしか、水道料全部無料にしたときじゃないですかね、水が足りなくなったのがね。そういうこともあるし、常に行政として、最悪な状況を踏まえながら、町長には水確保について何とか考えていただいて、そのような状況にならないように何とかお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） おはようございます。

私もこの水道についてちょっと質問いたします。

今の地下水の何だっけ、タンクがもうなくなったときですね、水がなくなったとき、濁ったと、二、三日でそのときは各家庭に水が滞った場面もありました。

その後、私たちが浄水場のほうを見てきたんですけども、塩素の添付ですね、あれたしか議会の中で、答弁の中で水量に合わせた塩素の添付をしていると言ったんですけども、実際見たら、幾ら水道使っても同じ速さで添付する装置になっているんですよ、機械が。多分二股も大泊もその型、山崎もその型式だと思うんですよ。毎回言っているんですけども、盆正月は皆さんお客さん来て、水道水は使って、それなりに水はおいしいんです。たまに、そのお客さん帰った後、まず、水が必要なくなったとき、襲月のあたり、水道水がちょっと塩素の臭いが強くて飲めない状態になるときもあるんです。ですからあそこ坂になっているせいなのか知りませんが、その塩素がたまっているといると思うんですよ。ですから、どっかに流し水というか、抜き水、そういうのをつけ

てもらおうことできないのでしょうか。

塩素の有量を水量に合わせた添付の仕方をこれから考えていく必要があると思うんですよ。その辺いかがでしょう。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 塩素の臭いが強くなるとかっていうのは使っていない時間が長ければ起きることもあるかと思うんですけれども、実際に濃いときにお知らせいただければ、こちらで塩素の量とかも確認しながら、それも含めての対処方法は今後検討したいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 確かにそうなんですけれども、水必要とするのは朝夜ほとんどなんですよ、ちょうどそのときに電話して来られます。そういうのをちょっと考えてほしいんですよ。夜に来られます。ですから、塩素の添付を流量に合わせた添付の仕方を考えてくださいということなんです。もしくは、泥水を吐く、水吐けを1か所設けるか、そういう、あれで答弁してくださいよ。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すみません、小倉議員おっしゃるとおり、早朝とか夜中になった場合来られるかと言われれば、職員常駐ではないので行けないので、その状況を都度都度確認しながらの対応にはなりますけれども、その途中で水吐きに関しても、実際は消火栓を使ってやったりとあっていう場合もあるかもしれませんので、ちょっと経路等を確認して対応しますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） おはようございます。

2人の議員の質問については、私が数年前から提言していることで、今現在、全然改良されていない。当時最初に質問したときに町長は、流量に合わせた自動注入方式で次亜塩素を注入していると。担当課の職員にその設備を確認してもらったら、計量注入方式ということで、流量計に連動されていないというのが確認されたはずですよ。

なので、今遠田課長が答弁されたことは、数千万円単位の改良費を投じなければできない。最初の答弁で町長は絶対そういうことはない、専門家にきちんと設計依頼して接続したと、あれからずっと対応を見てきたんですけれども、一切載ってこない、水道課の会計にも一切載ってこない。これって虚偽の答弁になりかねないので、そろそろ動

いていただきたい。実際、私はその次亜塩素を注入するのに、一番安いのが計量注入です。一定時間に一定量を注入する。そうすると、今小倉議員が言った水が動かない時間帯は残留塩素がだんだん濃度が濃くなっていく、流量が激しくなると正常な次亜塩素の量になるというのが一般常識で分かることなので、今後、水量の確保、それから災害時、トラブルあったときの予備水源の確保ということで、本格的に動いていただきたいと思うんですけれども、そろそろ町長腰上げていただけませんか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 前の答弁、今言った定量の設計されて出来上がってからのやつはそれで動いています。ただ、私はその後、言い訳になるんだばって、今、大川平と二股にポンプ、それから山崎に出ています。当然、その辺での塩素調整というのがなされると思っていました。今でもそう思っています。その辺をやっぱり担当課でこれから説明を受けながら後で、その辺、修正できるものは修正するし、今やった幾月のところを前から幾月は地下水なる前から塩素が強いというので、水抜き、前は消火栓で泥吐きはやっていたんだけど、そういう状態をやっぱり、1か月に1回とか、常に何回かやっっていかなきゃいけない。その日その日でなくてね、そういうこともあるので、泥吐け、昔、泥吐けあったような感じもするんだけど、昔の話をすれば分からないけれども、その辺は担当課と今確認して、その辺、考えていきますんで、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今別診療所です。

今、診療所の前駐車場の舗装工事ありますよね。以前にも質問したんですけれどもコロナ対策で、この駐車場を利用してコロナ患者を外で診るとい、今も現状そうです。プレハブみたいな患者さんを診るための施設を造ると言ったんですけれども、これいつ頃になるんでしょう。

○議長（本郷良克君） 平山事務長。

○診療所事務長（平山寛哉君） そういった患者さんを診るためには正面を向いて右側の奥のほうの玄関に1室というか、部屋はあります。ただ、今現状、車で来られる方が多いので、車に乗ったまま医師と看護師が時間帯11時と3時という形を決めているんですけれども、それで一応診療している状況でございます。

以上です。（「分かりました」の声あり）

○議長（本郷良克君） ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 議案第18号から第22号の質疑を打ち切ります。

お諮りします。議案第18号は原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第18号は原案どおり可決されました。

お諮りします。議案第19号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第19号は原案どおり可決されました。

お諮りします。議案第20号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第20号は原案どおり可決されました。

お諮りします。議案第21号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第21号は原案どおり可決されました。

お諮りします。議案第22号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第22号は原案どおり可決されました。

議案第23号を議題に供します。

事務局の説明を求めます。参事。

○参事・総務企画課長(太田和泉君)

[議案第23号 今別町過疎地域持続的発展計画の策定について説明]

○議長(本郷良克君) 議案第23号を審議願います。小倉議員。

○6番(小倉潤二君) 本来なら昨日の一般会計のほうで質問するはずだったんですけども、ちょっと駆け足で昨日終わってしまったので、今日この持続発展計画の中でちょっと質問します。

44ページの交通施設の整備ですね。今現在、カーブミラー、昨日もカーブミラーの話がよく出ていたんですけども、カーブミラー、道路に立っている分のカーブミラー、この支柱、真っすぐのやつでなくて、ちょっとカーブついた支柱にしていきたい。というのは、このカーブミラーが垂直の支柱だと、除排雪に大変影響をしているんですよ。そこだけ雪が膨らんで、車の通行がちょっと擦れ違いの困難になっていますので、

現状あるものはそれでいいんですけども、これからカーブミラーの新設を考えたときに、それをそういうふうな支柱にさせていただきたいと。歩道はいいです。道路についている分だけのそれもこれからの取り替えを考えている部分だけでいいですんで、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ありがとうございます。

その曲がっているのが、そういう役割を果たしている等々も今知りました。大変ありがとうございます。大変参考になりました。ありがとうございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 51ページの消防救急防災施設ということで「①有事の際、迅速な対応が取れるよう消防団員の確保に努めるとともに、必要な知識、技能の取得、訓練や講習などを実施し」ってあるんですけども、これ、私、過去に一般質問をしているんですよ。新しい若い人の普通免許では乗れない消防自動車がありますということで、計画にもこのように載っているのに、当初予算を見るとそういう計画が載っていないと、予算もないということなので、この計画に載っているのにも反映されていないと。ぜひともこれは補正とか、6月、9月補正できっちり、その助成制度を使う使わないじゃなくて、助成制度をきっちりつくっておいて、若い人の団員の勧誘及び若い人が入ってきたときに、そういう補助を出して、免許を取得して、すぐ車が乗れる、そういう制度をつくってくださいよ、町長、そういう制度をこの計画にもあるので、そういう制度を6月及び9月に予算計上して、そういう要綱なりをつくって、そういう制度をつくっておいて、新しい団員、若い団員が入ってきたら、そういう制度を使っただいて、免許を取得して、すぐ消防車両を運転できるようなシステムで、この計画の中の消防救急防災施策の実行を図ってくださいよということです。町長よろしくお願ひします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 前からこれ、綿谷議員から前もそういう話をされて知っています。ただ、この策定に当たっては、やっぱりこういう形のものを組み入れて、ただ、その時点では、令和8年度予算には反映されていないと。ごもつともであります。そういう関係では、これから制度的という中で、要綱が必要なのか、その辺は今、担当課とも相談しながら、消防団員の今の車、ポンプ車に乗れないっていう、そういうのも含めて、一般の練習、訓練であれば、消防学校等に行ってやるんだけど、こういう町がやらせ

る任用した団員に対しての指導またはその教育等、それから助成ということ、それを含めて担当課と詰めてまいりますので、必要であればまだ予算出てきますので、よろしく。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） はい、ありがとうございました。

ぜひ、やってほしいと思います。ちょうど私がこの一般質問を通告したら、六ヶ所で第1号が出たって新聞に大きく出たんですね。町の助成で六ヶ所村ですね、そういう助成をつかって第1号が出ましたということで、私の一般質問がちょっと薄れたようになったんですけども、そういうこともあるので六ヶ所村でそういうのを実際に実施しているんで、そういうことを参考にしながら、6月議会とは言いませぬけれども、ぜひとも9月議会で提案するというので、町長約束してくださいよ。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 綿谷議員知っているとおり、条例云々でないんで、要綱とかつかれば、町長の決裁で終わってしまうし、お金が絡んでくれば、議会提出になりますので、その際はよろしく賛同してください。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 73ページですね。集落の整備です。

現況と問題点、このちょっと確認なんですけれども、これは。ここは地区名がずらっと並んでいるんですけれども、西田地区と中沢地区、八幡町ですね、あと関口、綱不知が抜けているような感じするんですけれども、これでよろしいんですか。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今別、浜名、大川平というような並びになっていますよね。この中のこの地区名、西田地区、中沢地区、八幡町ですね、あと関口、綱不知が抜けているんですけれども、これはこれでよろしいんですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） すみません。失礼しました。すみません、今確認しました。これ、大字の区分です。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） すみません。大字でなくて行政区域です。すみません。（「分かりました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） あれ、どこへいったっけな。手を挙げたばって、質問する内容忘れてしまったじゃ。

49ページの生活環境の整備の中の水道施設の中段で、説明の段階でも読み上げましたけれども、浄水場の統廃合という形で、これ町長が前にも3つの浄水場について廃止して、地下水で供給するという旨お話ししていましたが、さっきの質問に重なるんですけれども、自然環境、それから地震とか、そういうことでいつどうなるか分からないというのが地下水です。予備の井戸を含めて3本引っ張っているって、掘削しているという話なんですけれども、それだけでなく、表流水を予備水源として使うために、今別浄水場の下、農業用水路ありますよね。あれ緊急時に緊急水源として使っていた経緯もあるので、そういう点をこの計画の中に盛り込むべきではないかと思うんですけれども、いざ実際、水が確保できなくなったときは、どうするんだって、計画にも何さも載ってないから何もできないということにならないようにそういう予備水源の確保とかという言葉をここに織り入れるべきではないかと思うんですけれどもいかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） これについて今、字句変更が可能かどうか、その辺もあるんですけども、今の質問は、文章としてあればそれはよしですよ。農業用水、または水源地からの水というの、さっき私言った水源地からの水、導水管がまだ生きていますんで、そういう形であれば何とかなので、文章的に必要であれば、ただ、ここさ、今この議案として出した中での修正云々が可能かどうかを含めながら、できれば修正して、文言、今の文言で、今、農業用水って言ったんで、水源地からね、水源地からの水、農業用水って言っても水源地から。それで、水源地から管が生きています。それを直している状況もあるので、昔の話を今思い出してもまいねので、現場をもう1回見ながら、文面、今のやつに文言入れられるかどうかも任せてください。駄目なら、まだ次のときまで変更を入れられますので。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 今、私が発言したのは、総務課長が「今後協議して、変更もあり得る」という言葉があったので、変更していただけないものかという話なんですよ。今ここで直せという話じゃない。総務課長が状況に応じて変更があり得る、変更が可能だという話でしたので、そういうふうに将来直していただけませんかという話です。あまり今々のことで話していると、この質疑が頓挫してしまいますので。その辺、言うほう

も気をつけますけれども、聞くほうも気をつけて聞いていただきたいなと思います。

それから下の下水道に関しても、合併浄化槽の補助金、毎年のように出して毎年のように不用額出ているような状況で、一時的に一時足りなくなった時期もあったんですけども、最近ずっと不用額で落としているような状態で、こういう表現でいいのかなと、強制的に地域指定して、例えば令和8年度はどここの地区を重点的に指導してやるとかっていう、その細部の計画についても持っておいたほうがいいんじゃないかと思うんですけども。ただ、単に働きかけるだけでは絵に描いた餅以下になってしまう可能性があるんで、その点について予算策定、計画策定の段階で、細部を我々に説明していただけたらいいんですけども、どうでしょう。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○参事・町民福祉課長（山崎真直君） 合併浄化槽につきましては議員おっしゃるとおり、年々申込みが減っております。ただ、これ、合併浄化槽を設置する際に、どうしても自己負担というのが、町で助成はしているんですけども、かなりの自己負担が発生してしまいますので、そこを町が指導とあってそういうのちょっとなかなか難しいというふうに思っております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 分かりますよ、人によって補助額、工事の内容を変えることはできないのは、それは分かります。なので、こういう計画をつくるときは、それを補填できるような考えを持って、年次計画で地域指定しながら、合併浄化槽への推進を図るとか、そういう感じで、状況に応じては高齢世帯であれば、高齢者に対する福祉制度の補助を上乗せするとか、様々な1つの規則や1か所の省庁の決まりだけでなく、複合的な事業の選択をしていかなければ、財源確保も事業推進もできなくなると思うので、その点については、合併浄化槽は厚生労働省でしょうし、その厚生労働省の中に福祉の関係もあるだろうし、そういうのが連携しながら総合的につくるのが計画だと思いますので、その点について今後協議していただきたいなと思います。

議長、大開のどこ、議長さ聞けばまずいですか。

農業用水路の設備で大開っておりますけれども、これ維持管理を行っていきってなっていますけれども、これ町でやるんですか、それとも農業団体のほうにということなんですか。この辺、言葉が足りないんだかさ、どうなんだかさ、その辺、ちょっと確認します。

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。

午前10時45分 休憩

午前10時54分 再開

○議長（本郷良克君） 休憩を解いて会議を再開いたします。

遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すみません、お時間いただきました。ありがとうございます。

先ほどご質問いただきましたこちらに記載の大開の水路の件で、2014年に工事が完了した部分については、引き続き、今後も町のほうで管理していく予定となっております。

また、大開の水路、上のほうにもずっとあるんですが、こちらに関しては、令和8年度から始まる今別の圃場整備事業の中で一部また改良が入る予定となっております。よろしくをお願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 計画なので総合的なことをもうちょっと記載していただきたいなと思っていて、先ほど言ったオーバーフローする、あの経緯は何十年も前からかさ上げしてくださいって町のほうに要望出ているはずなんです。アイウチの倉庫のところへ行ったらっきゃ、カミヤマヒトシさんのところの向いのあの水路とか、すみません。大川平から大開に続くその水路のかさ上げはもう何十年も前から、蓋かける蓋かけないの時代から、30センチぐらいかさ上げしてくださいというのはずっと出て、あそこが逆勾配になっているんですよ、一部、20センチか30センチぐらい、途中逆勾配になっているところがあるので、かさ上げしてくださいというその要望は、もう30年近く前からたしかあったはずなんですけれども、せっかくこういう計画立てるのであれば、そういう、過去の問題点を改善するような計画にさせていただいて、明日やれ、あさってやれという問題でなくて、この5か年のうちに、実施計画をつくって、その後、着工するとかっていう希望を持った計画書の見方にさせていただきたいと思いますので、今後よろしくお願いたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今と同じ関連なんですけれども、西田地区の今現在の今小の場所の手前の同じオーバーフローするんですよ。それ前から行政のほうでの何か検討する

検討すると言ってまだやっていないんですけれども、今、ちょうど津軽線の廃止もありますので、それも兼ねて行政のほうでどういうふうに考えているのかちょっとお聞きします。

○議長（本郷良克君） いつも苦情来るところ、西田の。遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今、ご指摘いただきました場所に関しては、昨年度横断側溝を入れて水を逃がすような工事を実施しております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） じゃあにもかかわらず、また今年の大雪でそこを多分オーバーフローしたと思うんですよ。（「場所を勘違いした」の声あり）たださ、職員がそのたびに行って、何時間もオーバーフローの対策している処理しているんですよ。ですから、あそこはさ、何ていうルート変える、ルートはもう多分変えられないと思うんですよ。だから、途中で今、津軽線の線路の下のほうに流れていると思うんですよ。あれ末端を広くしないと駄目だと思うんです。毎年です、あそこ、本当に職員がかわいそうです。その場所はずっと前から言っているんですよ。

○議長（本郷良克君） 課長、今答弁したのと反対側のほう、小学校のほう。今、課長しゃべったのは、そうそう、今町長言ったところ。しゃべったのは違うところのほうの答弁したの。

遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 多分私が今想像しているのは、横断側溝の工事を昨年度やったところで間違いないと思うんですが、たしかに今年度も1回水を逃げる先の蓋を外し忘れがあったとかで水が1回あふれました。ただ、そこに関しては、近くのそこに住んでいる方に、ここ水あふれそうだったら開けてくださいというお願いを改めてして、運用しておりましたので、水があふれ、確かに1回今年度ありました。それ以外はあふれたということは今年度は発生しなかったもので、引き続きちょっと見ていきたいと思えます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） やっぱりあそこを改善しなきゃ駄目なんですよ、改良を。とにかく道路に電信柱があるせいで、あの側溝が何ていう通りが悪くなっているんですよ。その解消と、あとその下にも入れないと、あそこはちょっと解消できないと思うんですよ。改良ですね。あそこはちょっとこう、何ていうんでしょ引っ込んでるんですよ、

道路が。そのために、あれいっぱいいっぱいの設計だと思うんですよ。ですから、その辺も考えながら職員が大変苦勞しているんで、その辺、よろしくお願ひしたいと思います。

続けていいですか、議長。（「はい」の声あり）

73ページのさっきの集落の整備ですね。

中段あたりです。袈月地区「袈月海岸一帯は観光開発の拠点となっており、高野崎を中心とした」ってあるんですけども、最後のあたりに「最大限に生かした新たな集落環境の整備を図っていく必要があると」これ、どういうふうなことを考えているんでしょう。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 待っているようなんで、30年、40年前ですね、袈月地区開発で、高野崎から袈月の地区、海岸ですね、あそこに遊歩道を造る予定になったんですよ。今で言えば龍飛岬の下に、海岸線をコンクリートで歩くように、そういう計画もあったんですけども、多分地区の人たちの反対でなくなっているんですけども、そういうこともこれから考えていく必要が私はあると思うんですよ。今考えて、大分考えもまとまったと思うんですけども、どういうふうな整備を考えていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） すみません、熟考時間をいただきまして、ありがとうございました。

今、袈月地区ということで新幹線開業時とかは高野崎を拠点にしていろいろパンフレットをつくってみたりとか、あとは高木恭造さんのものとかもやったりしました。今別の風光明媚というか、一番のスポットは高野崎とかになっておりますので、そういったところを中心にして、今、ちらっと議員の皆様からもキャンプ場の整備とかということところで、展望台のほうとかも今、いろいろ整備とかしていましたし、高野崎を主に、昨年度も整備とかしておりますので、そういったところもこの計画のところに含まれていると思います。

また、今小倉議員おっしゃられたような歩道の整備等については、また、すみません、今後この計画期間中にも検討させていただければと思いますので、議員の皆様からも何かこういい提言あればお願ひしたいと思っております。

以上です。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺はよろしく願いいたします。これも私のひがみです。こっちの今別町のほうだけに金をかけてもらって、海岸方面には金をかけていませんので、その辺よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私も袈月出身なんで、ひがみはありません。

37ページなんですけれども、観光及びレクリエーションのところの②に「海峡の家ほろづき、今別総合体育館を中心に滞在型施設の整備を進める」ということで、計画を見ると、体育館周辺、道の駅もこれから今年の当初では、測量とか、設計が入りまして、体育館も冷暖房のほう工事に入って、結果的に道の駅周辺、体育館は恐らく4億円から5億円近いお金が今年、新年度も入れて、今後かかると思います。

ただ、袈月の海峡の家の部分については、かなり年数もたっています。周りの整備もされていません。なので、計画にはないんですけれども、道の駅周辺、体育館等の工事終わり次第、そちらのほうにも目を向けていただいて、今、小倉議員からもありましたけれども、高野崎、中学校、あの中学校の跡地で海峡の家をやったのは、地域住民のお願いでやった経緯もありますので、その辺、予算を見ながら町のほうには整備も兼ねた、例えば海峡の家のほうに観音様もあります。今は道路を歩いて行けるか行けないか分かりませんが、私の中学校時代はもう歩いて行ける道路もありましたので、その辺も含めて遊歩道を整備するなり、もうちょっと袈月の海峡の家の高野崎、海峡の家周辺にもちょっと予算を向けていただいて、今後を開発していただきたいと考えていますけれども、町長どうですか。私ひがみはありませんよ。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 袈月地区というのを海岸線全般に、今、北海道新幹線開業して、あの周辺の整備が非常に力を入ったのは確かであります。そういう中で海岸線は今やったのが、高野崎の駐車場、中の歩道整備そこにお金かけた分で、ただ、投資的なものは非常に額が少ない。それでこれから今この文面にもある、やっぱり体育館の中の宿泊施設、それから海峡の家というのは、今言ったように地域の要望がありながら、袈中、今中統合のときに残そうということで、林間学校みたいな形にしようということで、私もあそこをしばらく管理しました。そういう中で、それを生かしながら今散策路、前は私も歩いて、あそこを歩いて、皆さんで地区の方も草刈りもやったりして、ずっと使って

あったんですが、それはそれとしてやっぱり海岸線全体のこれからの観光のエリアも、この計画は5年間ですので、そういう中でまたローリングもあるだろうが、皆さんからまた新しいアイデアが出れば、新しい補助整備があれば、また5年と言わずその先でも、やっていければと思いますんで、それをまだ今の5年だけでなくて、これから一つの大きい二股周辺の整備が終われば、また、次からまた入っていきますんで、その辺も含めながら、アイデアが出たときにいつでもまたチャレンジするようにしていけばと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） この計画は計画で守っていただいて、順調にね、計画どおり進むことを願っていますけれども、違う部分でも何とか町長今おっしゃったとおり、海岸方面の開発にいろいろ予算のほうをかけていただければなと考えていますので、これからよろしくをお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 私から最後ですね、76ページ、この一番下ですね。

「今後とも利用見込みのない施設を解体し」とありますですけども、まず、今の解体できていない旧学校があるんですよ。もう学校じゃないんですけども、大泊小学校、あと強いて言えば二股小学校、今は備品とかで使用しているんですけども、そのほかにスキー場の解体、解体というより、建物も入っているし、もうそろそろこの解体に手をかけてもいいんじゃないですか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） もう解体は10年も前からやらなきゃいけないと思って、ずっと財源を見て、繰越し繰越しで来ています。その中で終わっているのが開智小学校だけ、二股小学校は残っているのは、地区で1回使うっていうことであったんで、体育館も残しましたけれども、二股地区のところももう解体していかなければいけないし、大泊も解体しなければいけない、そういうのもやっぱり計画を載せていかなきゃいけないと思っています。そうやっていけば、だんだん大泊の体育館あたりは屋根が落ちてくる状態になっていますんで、それを含めながら、解体は私も考えていますが、何としても財源を今公共施設等の解体のための基金を積みながらという形で今動いていましたんで、順番もあるんですが、取りあえず二股、大泊、そういう感じでいました。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 44ページの交通施設で、下から3分の1あたりかな、「主要地方道今別蟹田線について云々」ってあって、結びのところに「平たん化について要望を続けていくことが必要である。」この計画をつくった時点ではそうだったんでしょうけれども、この文言も、先日の町長の答弁で、予算実施計画に基づいた調査予算とかついて、平たん化は間違いないというお言葉をいただいているので、この計画の段階で、要望を続けるという文言は本来ふさわしくないんじゃないかと私は感じたんですけれども、時期的なものがあって、要望し続けなければいけないという考えでつくったと思うんですけれども、今もう着手という段階ですよ、極端に言うと。なので、この平たん化についての要望を続けていくことが必要であるという文言について、若干疑問を感じたので、その辺の将来の訂正、協議できるんですよ。答弁をお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） この文面はやっぱり非常にまずい文面だと思いますよ。これは、これを直せるものは直さなきゃいけないと思いますよ、という思いで今いましたし、この間も読んでいました。

そういう中で、今県でやるって決めたんだはんで、最終ルートは今議員の皆さんこれから私もまだ受けていないので、最終ルートは受けてない、やるのが決まったんだはんで、そういう中では、この文面はちょっとおかしいっていうのは、私もその辺は事務方と相談しながら、字句修正したいと思いますので。

今、バイパス平たん化決まりましたので、知事も言っていますので、そういうのであれば、町のほうのやつがやっぱりこの弱い文面であれば非常に悪い、実現がもう実現になったので、その辺は早期着工ってことは、要望では早期着工早期実現を知事には秋に要望していますんで、そういう形でいかないといけない。早期着工、早期実現、それに向かっていますんで、知事には7年、8年で頼むって、10年と言ったんだけど、知事、7年、8年で頼むと言っていますんで、この文面はできるものなら直して、今のうちが直したいと思っていますんで。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 41ページ、すみません、間違えました。42ページにあります地域における情報化についてなんですけれども、東青地区のほうで、自治体によって様々な情報発信の取組をしていますが、以前、一般質問でも質問したことがあるんですけれども、LINEの導入について、緊急情報の発信やそれ以外の業務の負担軽減なども兼ね

て、生成AIの導入も、今定例会の予算で計上されていることから、LINEを導入することで、事前にその窓口業務の負担の軽減を図ったりという形も取れるんじゃないかなと思っています。なので、この計画の中にはないんですけども、いずれそういう必要な時期が来るんじゃないかなろうかという点と、あと、東青地区の中で、外ヶ浜町も平内町も青森市もLINEのほうを導入していますので、今別町もいずれは必要なんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 以前も本間議員からは、一般質問等、ほかの場面でも情報についてご質問なり、いろいろ意見を交わしているところですけども、たしかにLINEのほうは進めております。こちらのほうでも、町としてどういう形がいいのかLINEということで、私、答弁していました。それについてLINEのほうで今進めているところがございます。まだ提供できるというか、運用できるまではいつていないんですけども、いろいろ今やっているところがございます。もう少し時間いただければと思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 外ヶ浜町を例にしますと、広報ですとか、あと、突発的に起きた地震などの速報なども割と入りますので、そういった活用も視野に入れて検討していただければと思います。

それともう1点よろしいでしょうか。

75ページにあります再生可能エネルギーの利用推進について、以前、マスタープランの策定をして、風力などの計画がされていたように認識しておるんですけども、その計画、その後、具体的な取組や、どういうふうになったのかっていう経過をあんまり聞いてないような気がしましたので、もし話せる内容があればお聞きしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） マスタープラン、分散型エネルギーのマスタープランを策定しました。総務省関係のプランなんですけれども、分散型ということで計画内容にいたしましては、この今別町地区とあと二股エリアということのエネルギーということでいろいろやっておりました。ただ、今、町のほうの方向性といいますか、町で今来ているのが大型の風車の整備ということで、また、分散型とまだ違うほうに進んでおります。それについては今、総務省のほうとも、マスタープランの関係のほうともそ

の整合性を今図っているところでございます。

ただ、マスタープランにある、何ですか別のエネルギー、太陽光エネルギーとかについてはなかなか今実現できてないというか、そういう状況でございまして、ただ、その風力に関しては、今ちょっとそちらのほう、今、計画予定のほうと整合性を取っているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 近隣の町村でいきますと、中泊町が非常に風車をすごく建てている状況もありますし、洋上風力に着手するというニュースもありましたので、今別町も風が強いという立地条件がありますので、そういった再生可能エネルギーを利用して、町民のためになるような施設をもし計画できるのであれば、進めていただきたいなと思いました。

質問は以上です。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 今、本間議員の続きと言っはなんですが、42ページです。

（2）のその他の対策、防災無線設備の計画的な整備、住民への緊急情報発信の体制整備強化を図るなどなどありますが、僕が一般質問している防災無線に関して、これを見ているとブロードバンドを活用したインターネットを通じての提供ができる環境整備に努める。こういう目があれば、戸別式受信機のタブレット式のやっぱりそういう整備も一緒に進めていければいいのかなと思うんですけども、どんなものでしょう。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 確かに整備された要は光ですけれども、それ以外の整備の部分でもまた必要になってくるという認識でございます。また、情報に関してはタブレット等もそうですけれども、現在、町では一応簡易ではありますけれども、テレビで情報を見られるようにも整備、テレビ局と連携取ってやっているところもございまして、また、インターネットできる環境は、こちらで求めているものと地域住民等のニーズ等と合ったものが必要になってくると思いますので、その辺についてはまた今後検討していきます。

ただ、全町、全世帯配布というのに関しては、もっともっとこれ以外の整備も必要になってくると思いますので、そこについては今後も引き続き検討というか、一緒に考えていきたいと思っております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） これに関しては、世の中すごいスピードで進んでいくと思うんですよ、この件に関しては。なので、それに劣らず、町のほうも対応できるように計画して行ってほしいなと思います。

続けてよろしいですか。（「はい」の声あり）

最後になります。30ページ、産業の振興ですね。

農業関係に関しては、今圃場整備が二股地区からずっと始まってきていて、来年度からまた、鍋田地区や大開地区と入ってきて、今別の圃場整備が進んでいくと思うんです。農家も若手、30代の後継者が主に大川平地区が圧倒的に後継者が多いんですけれども、進んでいくと思われま。けれども、総頭数でいくと、やっぱり農家が減少していくんですよね。この農業もそうですし、畜産業もそうです。今現在今別町には9軒の農家があって、繁殖頭数は年々減ってはいるんですが、農家の戸数としては、平成3年からずっと9軒になっていますけれども、今もそれを維持しています。

でも、この5年を見ると、減ることに関しては間違いなく数が減ってきます。なので、それに伴って漁業のほうなんかは、20代、30代の後継者っていないですよね。なので、それを含めていろいろ考えていくと、23ページの移住・定住地域化交流促進人材育成、この中にも人材育成として、移住・定住に絡めていけるような計画があれば、すごい他町村、または県外に発信できていけるんじゃないかなと思います。畜産、僕は畜産ですけれども、酪農家なんかは、僕も県に家に跡取りがないので登録はしているんですけれども、移住・定住を求めている畜産農家、例えば酪農家だったりすると、ほぼ北海道に移住・定住で向かっちゃうんですよね。というのは、やっぱり北海道の膨大な地域で、酪農をやってみたいっていうのが多分頭の中にあると思うんですけれども、例えば今別町ではこういう景色があって、こういうところでっていうアピールができるような町じゃないですか、海もあって、山もあって、景観もよくてという、新幹線もあって、交通の便もよくてっていう材料があるので、この5か年計画の中でもそういう文言が入っていれば、こっちの移住・定住、人材育成にもつながっていけるので、いくと思いますので、ぜひその辺を頭に入れながら考えて行ってほしいなと思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） すみません、もう1点だけ質問させてください。

42ページの情報のところなんですけれども、その対策の中に、③災害緊急時に備える

ため携帯電話の通信環境をさらに整備するとあります。町民の方から、地区によって、もちろんキャリアによって違うんですけれども、非常に携帯の電波がつながりにくい地区があるというふうに伺っています。この計画を見ると、さらに整備するとあるんですが、実際に携帯電話の電波を強化したりということは可能なんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 携帯電話の中のキャリアによってはなかなかつながりづらいとかってというのは私も聞いているところでございます。また、実際、携帯電話の会社等もよく防災のほうに力を入れておりますので、そういった情報等も得ながら進めていければということと考えておりましたけれども、カバーできないのところに關しては、具体的な話はまだできておりません。ですので、今後その環境整備に關して、何て言いますか、来た情報について、まず、こちらのほうでも詳しく調べて、対応できるところは対応していきたいと考えているところでございます。個別には来ております。防災に關しての通信の關係とかは来ているんですけれども、まだ、うまく実行できてないところではございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 具体的な例を申し上げますと、水害のときにLINE電話等で連絡したかったんだけど、全然つながらないと。雨が降ると、そういう状況が強くなったりと、当然、個人個人の契約の仕方にも違いはありますし、様々あると思うんですけれども、実際にそういった声が聞こえております。例を挙げますと、団地地区、それと海岸線の奥平部、綱不知の方からそういった意見を伺いました。

なので、災害のときに受け取る緊急連絡メールはもちろん受け取れるようにしなきゃいけないと思うんですけれども、日常の会話ももちろん緊急時の通話も含めて、通信環境の整備に努めていただければなと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今挙げられた地区は、こちらでも把握しておりましたので、そこについてはどこの通信会社というわけではなく、ちょっと確認していきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） すみません、さっき、1つ言い忘れたことがありました。

いまべつ牛に關してなんですけれども、地域の特産品として、これを継続していくた

めに、今現在、2軒の農家がいまべつ牛を肥育していますが、これを継続的に続けていくためには、人材育成がやっぱり必要になってくると思うんですよ。今現在飼っている人たちも、これからだんだん高齢化になっていくし、今現在、畜産農家で跡取りが20代、30代で数名おられます。この人材の方々をやっぱりいまべつ牛の肥育農家としても育てていく必要があると思うんですね。でないと、特産品としてあるいまべつ牛が、これから停滞していくと、今別の特産品がなくなってくるんじゃないかと思われま。このいまべつ牛に関しては、販売に至るまで生まれてから約3年かかります。1回途切れると、それを復活させるまでかなり時間が要するんですよ。なので、この5か年計画にもそういう文言が入っていてもいいんじゃないのかなと感じました。

今別の特産品としていまべつ牛がなくなるととても寂しいし、今までやってきた農家も何だったのよとなる可能性もあるので、例えばこの漁業に関しても、若手の人材がない中でじゃあナマコをどうすんだよ、誰取るのよという時代がもうすぐそこに見えています。

なので、この5か年計画、人材育成は本当に大事だと思いますので、行政のほうも考えていってほしいな。また、力になってほしいな。いまべつ牛販売促進協議会では、もう既にその話が出ていて、次にじゃあ避難舎を使って若手を育成するような話も出ていますので、行政のほうも協力よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） いろいろアドバイスありがとうございました。

今言ったように、いまべつ牛の今ブランド化、3年かけて弘大のほうにお願いしていますが、それはあくまでアイデアをもらうだけであって、あくまで肥育する若者がいないとどうにもならない。今、田中議員言ったように、今、2軒の主幹農家の方がいまべつ牛を育ててもらっていますが、その人たちもだんだん高齢化になっています。ですから今の若い人たち、何人か今おられますので、元気に若者がいるんで、彼を何とかこれから育ててもらって、町も援助しますんで、そういう形でやってきて、いまべつ牛を何とか今まで以上にまだ盛り上げていきたいと思っていますんで、ひとつよろしくお願ひします。

○議長（本郷良克君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 議案第23号の質疑を打ち切ります。

お諮りします。議案第23号を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(本郷良克君) 異議なしと認めます。議案第23号は原案どおり可決されました。

以上で、本定例会に付された案件が全て議了したので、第502回定例会を閉会いたします。

午前11時30分 閉会

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

今別町議会議長

署名議員 番

署名議員 番
